

平成28年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京外国語大学	タイプ	B
事 業 名	日本発信力強化に貢献するミャンマー・ラオス・カンボジア知日人材養成プログラム		

〔評価コメント〕

本事業計画は、ビルマ語、ラオス語、カンボジア語の教育プログラムを有し、日本語教育の世界的拠点でもある東京外国語大学ならではの強みを活かし、ミャンマー・ラオス・カンボジアに関する地域研究を推進すると同時に、現地において日本・日本語を教育することのできる人材の養成を支援することを目的としたプログラムである。東京外国語大学の特色並びにこれまでの実績を活かしつつ、対象国における日本・日本語研究の強化を戦略的に位置付けている点が高く評価できる。

また、交流する相手大学の状況・ニーズや単位認定の仕組みについてもよく研究され、相手大学との十分な交流実績の上に計画されており、事業の実現性が高いプログラムとなっている。

一方で、「知日人材」が実質的に「日本語教育人材」と同義になっており、養成する人材像がやや限定的であるように見受けられるため、人材像とそれに対応したカリキュラムについて更に検討を進めることが望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の我が国とASEAN諸国との関係を見据え、質保証を伴った国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。